

BSアラムナイ・マネジメント研究会で思ったこと

「まずは日本で一番のアラムナイになろう。そうすれば色んなものが付いて来るはずだ」QBS設立15周年のシンポジウムで発した正直な想いでした。

弊会の活動に注力して暫く。間もなく代表の任期切れが近づいてきた時、他のアラムナイはどのようなマネジメントをしているのか、との単純な疑問から研究会を発足しました。

碧樹会(KAIL)、早稲田、立命館、グロービス、ボンド、アラムノート(東京大学のスタートアップ)の代表にお声掛けをしてBSアラムナイ・マネジメント研究会を組織し、昨夏から月に1度のペースで研究会を開催してきました。初めて横の比較を試みましたが、法人として組織化し、専門の事務局を構え、理事会が責任を持ってPDCAを繰り返しているアラムナイ組織を有することは誇って良いと思います。

修了生はそれぞれが独り立ち出来るようあるべきですが、同時に修了生の塊として意思表示が出来ることは、御恩を受けた多くの先生方や関係者の皆様への恩返しにも繋がるはずです。



アラムナイへの向き合い方は人それぞれですが、同じ共通言語を有した非常に良質なビジネスコミュニティだと思います。修了生の気持ちを束ねる良い器が出来ました。QBSのカウンターパートとして、皆様の引き出しの一つとして、より望まれるQANにして参ります。

QAN会長 寺松一寿 (4期生)
(株) 寺松商店

拡大村藤ゼミ開催！

12月17日に第7回となる拡大村藤ゼミをオンライン（ZOOM使用）で開催しました。年末の多忙な時期にも関わらず31名の方々がご参加くださいました。今回は村藤先生に「経営環境の変化と幸福曲線」というテーマでレクチャーしていただきました。

幸福曲線の作成や価値体系の樹形図の作成を通して自分自身の幸不幸の重要イベントや価値観を整理することができ、自己理解が深まることで人生の岐路において意思決定の役に立つという学びを得られました。

また、講義後の懇親会にも14名が参加され、講義とは一味違う期を超えたフランクな交流をすることができました。早速「幸福曲線合宿」に参加したいという方もいらっしゃいました。

村藤先生からの教えが参加者の心にしっかりと届いたのではないのでしょうか。

拡大ゼミは、①継続学習の機会、②ゼミのOB・OG会の役割、③QBSの期を超えた交流など様々な価値提供ができるものだと感じました。

拡大ゼミ担当理事 神谷 誠 (18期生)



QAN代議員のご紹介

(任期: 令和6年度)

16期 吉田 康人
17期 渡邊 由佳
18期 溝上 聡士

代議員は概ね40名の中より1名の割合を持って選出され、代議員総会での議決権を有します。現在、QANでは期毎に1名の方に代議員となっていていただきます。

2022年12月にQANの代議員選挙が行われました。今回の代議員選挙では、16期～18期のそれぞれ3名に立候補いただき、信任投票にて代議員として信任されました。代議員の皆さまには、それぞれの期の顔として、QANの活動へのご協力をいただいております。2023年6月に行われる総会後には、1期～15期の代議員選挙を行う予定です。QANは会員の皆様のご理解・ご協力のもと活動を続けております。引き続き会員の皆様のご指導の程、宜しく願い申し上げます。

QBSゴルフコンペの紹介

このコンペは私が入学する前からゴルフ好きのQBS有志により続いているイベントで、在校生の皆様に幹事を引き継いでいただきながら、現在は毎年3回(6月の新入生歓迎、8,9月の夏休み期間、3月の卒業記念)のペースで開催されています。

QANの正式な活動ではありませんが、年次に関わらない同窓生の交流の場として定着してきたように感じます。ゲストとして村藤功先生、小城武彦先生、平松拓先生、出頭則行先生、故・永池克明先生、当時助教だった藤村まこと先生など様々な方に参加頂きました。講義内容や成績を気にすることなく、教員の方々と自然体で会話ができるのも一つの魅力です。同窓生の交流の場であると同時に、これから始める皆さんのゴルフ場デビューの機会も兼ねて開催されています。

案内はfacebookを中心に行っているため、これからゴルフを始めようかとお考えの方もお気軽にご連絡ください。誰とは申し上げられませんが、先生がブービー賞を争うライバルの参加をお待ちです(笑)

本題からは逸れますが、私は在学時、中村裕昭教授にご指導いただき、プロジェクト論文にて自社の事業環境についてシナリオプランニングを用いたリスク分析を行いました。リスク分析や事業計画について継続的に勉強していきたいと考えておりますので、ご興味のある方はfacebookなどを通じてご連絡くださると嬉しいです。

石田保憲(6期生)
株式会社近代プラント 代表取締役



QAN総会 & アワード2023開催のご案内

QANでは6月25日(日)に「QAN総会」「QANアワード2023」を開催いたします。今年度も対面開催を予定しており、理事一同、計画・実施に取り組んでいます。また「QANアワード2023」では、様々な分野で大きな成果を実現した事例、または成果を実現したQBS修了生の取り組みを広く発信したいと思っております。総会・アワードの詳細は決まり次第、メーリングリストやFBグループ、QANのHP等で発信いたします。QAN会員の皆様のご積極的なご参加を心よりお待ちしております。

(QANのHP) <https://qan.mystrikingly.com/>

教員紹介(荒木啓充助教)



荒木 啓充 助教
担当: 新産業創出

QANのみなさま、初めまして。2019年の3月よりQBSに着任しております、荒木啓充(あらかきひろみつ)です。QBS以前は、製薬会社、国内外のバイオベンチャー、アカデミアで遺伝子解析の研究を行っていました。QBSではバイオ産業に関する講義(「新産業創出」)を担当するとともに、農学研究院の昆虫科学・新産業創生研究センターで開発された技術シーズの社会実装推進を担っています。持続可能な社会の重要性が高まるなか、バイオテクノロジーが果たす役割は大きいと考えています。

生まれも育ちも北九州市戸畑区で、地元のお祭り戸畑祇園大山笠に毎年参加しています。プライベートではコロナ禍を機に始めたゴルフに励んでいます。なかなか上達しませんが、そこが面白いところでもあります。

QANはQBS在学時のマインドを共有できる場であり、昭和的な言い方をすれば、「同じ釜の飯を食った仲」かと思えます。ただし、普通の飯ではなく、仕事、家庭、さまざま外部環境の要調節というインパクトのある「おかず」付きなので、修了期を超えた結びつきも強いかと思えます。この素晴らしいQANがこれから益々発展されることを祈っております。

修了生リレー紹介

7期生の鷺谷公憲です。

卒業後も、引き続き、パナソニックに居座っております。8年ほど転勤で隔地を放浪していましたが、4年ほど前に、パナソニックの共創拠点「パナソニックラボラトリー福岡(PLF)」を立ち上げ、展開していくミッションのため、福岡に戻ってきました。PLFは、オープンイノベーションやビジネス共創活動を目的した組織で、多くの九州の企業の方や大学関係者、行政関係者と連携させていただきました。この間に、QBS/QRECとの連携活動を始めることができ、現在でも当社の社員が九大のゼミに参加したり、九州大学からPBLベースのインターン学生を受け入れたりしています。

現在、部署は変わりましたが、PLFの活動を含め、引き続き産学官連携や新規事業の立ち上げ支援、次世代のリーダー育成といった形で同様の仕事を続けております。こういった活動をしていると、QBSのネットワークは色々なところで繋がっていて、先生方や修了生の方も様々な形で一緒に活動でき、本当に頼もしい限りです。皆様もどこかで接点がありましたら、どうぞよろしくお願ひします。

次は、同じ永田ゼミ出身で、九大合同ゼミでもお世話になっている、佐々木彩さんをお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

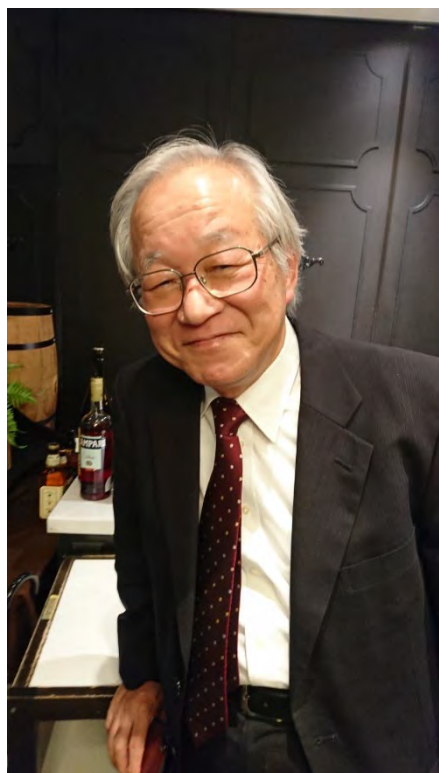
鷺谷公憲 (7期生)

パナソニックシステムデザイン株式会社
事業総括



Venture Life Challenge 2022 より
筆者: 右から2番目

退職教員からのご寄稿(塩次喜代明先生)



振り返りつつの近況

私は九大に奉職する際に、学術研究のリーダーたれ、研究者の育成に励め、と先輩教授に言われました。基幹大学の教員としては当然のことです。ところがQBSは研究者育成ではなく高度専門人材育成を目指していますから、これまでの九大の在り方とはかなり違います。このためQBS設置は九大にとって大きな挑戦になりました。

私はこの挑戦の真に中に立って奮闘しました。有りがたいことに、この挑戦に志の高い先生方が結集してくださり、QBSは力強く始動しはじめたのです。

QBSの誕生は学内のみならず近隣の大学や経済界に影響を与えました。QBSのお陰でうちのMBA構想が壊れた、と私は幾つかの大学からお叱りを受けました。MBAを目指していた経済界は舵を切りなおして、九州アジア経営塾(KAIL)を設立しました。私はその設立にかかわり、九大退官まで副理事長を務めました。こうして九州にはMBAのQBS、エグゼクティブ塾のKAILが並立することになりました。

さて私はこの後、文理統合の「統合新領域学府」の設立や福岡女子大学では大学院改組の認可申請を行いました。また九大TLOやゼンリン、九電、JR九州などで、取締役、監査役、第三者委員会委員長などを務めました。

現在は九州生産性本部副会長を仰せつかりながら、2年ほど前から教え子からの誘いで、明日の関西をリードする人材を育成するべく「大阪城イノベーション・アカデミー」を東芝社長や大手企業経営者とともに推進しています

このような経験は「トップは器量、リーダーは行動だ」との気づきを与えてくれました。執行役員レベルまでは研修で育成できます。しかし、経営の構想力やヒトの大きさは、研修だけでは育成できません。器量不足のトップは会社を誤らせます。器量を磨くことは、皆さまのこれからの課題になってゆくに違いありません。



塩次喜代明先生
(2003年～2011年QBSに在籍)

Qlothの登録情報のアップデートをお願いします！

会員の皆様、Qlothはもう登録済みでしょうか？QlothはQBSとQAN共同で、教員、修了生及び在学生等を繋ぐデータベースシステムです。QAN会員、QBS在学生、QBS教員（過去QBSで教鞭を取られた方を含む）が登録・利用できます。このDBシステム会員各位の目的に沿ったネットワークを構築し、新たな事業価値の創造を促進する一助になることを目指しています。Qlothは会員の情報が常にアップデートされることで更に生きた情報となり、コミュニティも活性化します。この機会にぜひ、Qlothの会員情報を更新&登録をお願いします！

